

定例公安委員会の開催状況について

令和5年9月28日に、第26回定例山形県公安委員会が開催されました。議事の概要は次のとおりでした。

1 児童虐待事案への対応等について

児童虐待事案への対応等について報告があった。

委員のコメント

- 児童の生命、身体の安全確保を最優先に、重大事案への発展を予防するため、機動的な検挙と児童相談所との連携強化を図ってほしい。
- 以前よりも、『児童を見守る』という意識が社会に浸透してきたことも通告児童数の増加につながっていると思う。児童相談所との連携を密にして、今後も深刻な事態に陥る前に対策を講じてほしい。

2 「首都直下地震」・「南海トラフ地震」発生時における部隊派遣計画について

「首都直下地震」・「南海トラフ地震」発生時における部隊派遣計画について報告があった。

委員のコメント

- 災害などが発生した場合、広域に救援活動を行う必要があるため、事前の計画や迅速な対応が必要となる。日頃の訓練を通じて災害対策に貢献できるよう努めてほしい。また、受傷事故防止にも配慮して活動してほしい。
- 首都直下地震や南海トラフ地震は、いつ発生してもおかしくない状況にある。部隊の派遣計画は、事前の役割分担と現地拠点の状況把握、ハザードマップの確認による二次被害の防止を含めて、人命救助と治安維持に積極的に貢献する姿勢が大切である。必ず発生するという認識の元に準備してほしい。
- 南海トラフ地震の被害想定の甚大さに驚愕した。部隊の派遣には事前の調査と訓練に加え、実査に基づいた計画を策定してほしい。また、必要な装備の確保などについても考慮してほしい。